



# 丸小だより

～実践目標 自分が輝く、みんなも輝く～

横浜市立丸山台小学校 学校だより  
3月号  
令和5年2月28日(火)

## たいせつなもの

校長 倉本 恵

2月13日、1年生と4つの保育園（丸山台・小学館アカデミーかみながや・港南ひまわり・京急キッズランド上永谷）の年長さんとの今年度最後の交流会が本校体育館で行われました。コロナ禍で縮小を余儀なくされていた保育園との交流を、今年度は年間を通して間近で見ることができ、1回ではなく繰り返すことの大切さを改めて実感しました。4園と本校との担当者は、直接顔を合わせることはもちろん、FAXや電話、そこにオンラインも加え、有意義な交流になるよう打合せを重ねてきました。

年間最後の交流会は、今までは1年生が年長さんを連れて校内を案内して回る形が主流でした。でも4園の年長さん全員が本校に入学するわけではないし、校舎のつくりは学校によって異なるので、校内の場所を知るのは入学した学校でのお楽しみとし、今回は年長組担任の先生を通して、年長さんの学校生活に対する知りたいことや心配なことなどを聞き、入学前の「どきどき」を「わくわく や にこにこ」に変えることをめあてにした会にすることにしました。「やすみじかんってなにをするんですか?」「ぎゅうにゅうを ぜんぶのめるか しんぱいです」「ねむくなったらどうしたらいいですか?」など、年長さんならではの質問に、1年生なりに答えを考えました。担任が映像やクイズ形式等を加え、1年生がわかりやすく答えを伝える会の様子は、年長さんの思いを大切にし、めあてを見事に達成していました。～1年生が考えた質問の答えは、学校だよりのどこかにあります～

さて、コロナ禍で一気に進んだ一人一台端末（タブレット）を使用する学習スタイルですが、子どもたちと職員の今年度のスキルアップには目を瞠るものがあります。後期に入ってから、とにかく使ってみる、というところから、マナーやモラルを見直して適切にそして安全に使う力や、タブレットを使った方がいいのか、他の方法がいいのか正しく選択する力をつけていく過渡期に入ってきたこと感じています。本校にとって大切にすることは何か、を検討の軸として、今年度のまとめと次年度の計画を進める年度末です。

この学校だよりを手に入れている皆様に、本校を支えてくださったお礼を申し上げますと共に、よき春が訪れることを願い、今年度の学校だよりを締めくくります。来年度も本校をよろしく願います。